

地方圏における空き家流通促進のための相談体制構築事業(信州中古住宅流通ネットワーク(NEX-T))

課題と目的	地方圏においては、宅建業者が経費倒れになることから空き家が市場で流通しない、官民が効率よく空き家対策を連携する仕組みが存在しない、市外居住者からは居住環境が不明であることから空き家情報が閲覧されない、等の課題があり、空き家の流通が阻害されている。 本事業では、官民が連携して簡便・効率的に空き家対策を実施できる仕組みと空き家情報発信の仕組み構築を目的とする。
取組内容	本事業では目的を達成するために以下の取り組みを実施する。 ① 空き家が市場に出るまでの業務対応マニュアル化 ② 空き家が市場に出るまでの空き家情報管理データベースの制作 ③ 空き家情報へ暮らし・生活の情報を付与する地域情報ポータルサイトの制作 ④ ①～③の構築後に松本市における試行の実施
成果	上記取組内容に対し、 ①空き家対応官民連携業務フローの制作 ②松本市空き家情報管理データベースの設計と制作 ③地域情報デモサイトの設計・制作 を行い、現在の松本市における空き家流通の課題の改善の仕組みを構築した。なお③のコンテンツ登録は来年度に行う予定である。また、④については、松本市は空家特措法に基づく対策を実施に向けて、本年度は検討委員会を設けて組織や法定協議会等について本格的に対策骨子を詰めている段階であるため、実施までは至らなかった。

